



© Studio Ghibli



市制施行50周年を記念し、本市の名誉市民である宮崎駿氏(スタジオジブリ)に描いていただいた市のイメージキャラクターです。

市税で築く明るいまち

市税の納付は、便利な口座振替  
をご利用ください。

平成31年度施政方針

2月20日に、平成31年第1回市議会定例会の冒頭、西岡真一郎市長が、平成31年度の施政方針演説を行いました。

その中で市長は、小金井市の未来と市政運営のために全力で取り組む決意を表明しました。

ここにその要旨をご紹介します。なお、全文は、企画政策課でご覧いただけるほか、市ホームページで公開しています。

☎企画政策課企画政策係(市役所本庁舎2階☎042-387-9800)



市民の皆様へ

「しあわせ」のために

1 はじめに

はじめに、可燃ごみの処理について御礼を申し上げます。

市政の最優先課題である可燃ごみの処理につきましては、

日野市のご理解のもと、国分寺市、小金井市の3市で設立

した浅川清流環境組合におい

て、平成29年11月から日野市

内にて新可燃ごみ処理施設の

建築工事を開始し、平成32

(2020)年4月の本格稼働

をめざし、本年12月ごろには

新施設の試運転に伴うごみの

全量搬入が開始される予定と

なっています。本市としまし

ては、与えられた役割の重大

さを認識し、責任を果たすべ

く全力を尽くしてまいり所存

です。新施設周辺にお住まい

の皆様をはじめとした日野市

民の皆様および関係者の皆様

へ深く感謝を申し上げます。

また、この間、長年にわた

り、本市の可燃ごみの処理に

係るご支援に対しまして、ご

理解とご協力をいただいでい

るすべての施設周辺にお住ま

いの皆様および関係者の皆様

に心から感謝を申し上げます

とともに、新施設の試運転が

まるまでの間、引き続き、本市

から発生する可燃ごみの全量

のご支援をいただけるよう全

力で取り組んでまいります。

併せまして、廃棄物の最終

処分場の運営について、多大

なるご理解とご協力をいただ

いている日の出町の皆様にお

より感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、米

朝首脳会談や南北首脳会談な

ど、世界平和に関わるさまざ

まな出来事がありました。私

たちは命の尊さについて改め

て考え、平和を引き継いでい

かなければなりません。本市

におきましては、昨年10月に

市制施行60周年記念式典を挙

行し、皆様とともに節目を祝

うことができましたことを深

く感謝申し上げます。

【市政運営についての基本的

な方針および主要な事業に

ついて】

本市では市民の「しあわ

せ」を増進することを目的に、

第4次基本構想を策定し、小

金井市の将来像を「みどりが

萌える・子どもが育つ・きず

なを結ぶ 小金井市」として、

取り組みを進めてきました。

本市には、交通アクセスの

良さ、閑静な住環境、豊かな

自然環境や教育環境など、さ

まざまな強みがございます。

これらをしっかりと守り、次

の世代に引き継いでいかなけ

ればなりません。本市の人口

は12万人を超え、現在も微増

傾向にあります。いずれは

人口が減少する時代が来るこ

とを想定しておくことが必要

です。平成33(2021)年

度からの第5次基本構想の策

定に当たりましては、小金井市の将来について子どもや若者も含めた幅広い市民の皆様と一緒に考えてまいりたいと思

います。

私は、小金井市が、誰もが

健康で生き生きと安心して暮

らすことができ、生活を楽し

むことのできるまちでありたい

と思っています。そのため

に、目の前の課題解決に全力

で取り組むとともに、将来を

見据え、次の世代に向けて責

任を持った対応を着実に実行

してまいります。

本市のごみ処理行政につ

きましては、新可燃ごみ処理施

設の整備の推進、発生抑制を

最優先とした3Rの推進など

の施策に取り組んできてお

り、市民の皆様のご協力によ

り成果を上げていくところで

です。また、地域の皆様のご理

解を得ながら清掃関連施設の

再配置を進め、安定したごみ

処理に努めてまいります。

そして、本市の長年の課題

であるとともに私の最大の目

標であり、公約でもある庁舎

問題の解決は、基本設計に取

り掛かるところまで、その歩

みを進めることができまし

た。新庁舎(仮称)新福祉会

館建設は、早期の福祉会館機

能の回復、防災拠点としての

機能強化とともに、中心的な

行政拠点である新庁舎と地域

共生社会の拠点をめざす(仮

称)新福祉会館の機能連携に

より、本市の総合的サービス

提供の基盤を築く大変重要な

事業であり、基本設計では建

物の構造や配置、各階の基本

的なレイアウト、備えるべき

機能や設備、内外のデザイン

等についての取りまとめを進め、市民の皆様、市議会議員の皆様と完成イメージを共有する

という次なる一歩を踏み出すこととなります。私は、

市長就任以来、現状の分散庁舎を脱却し、行政執務の効率化

とともに、より一層市民サービス

を向上させてまいりたい、さら

には市民の皆様への生命と財産を守る拠点として、

その機能の強化・充実を図る

という自治体の重要な責務を

果たしてまいりたいという思

いを強く抱いてまいりました。

本事業は、本庁舎、第二

庁舎、旧福祉会館、保健セン

ターなどを複合施設として整

備することで、施設の集約と

多機能化による利便性向上を

図るとい、本市にとって公

共施設マネジメント実践の出

発点となるものでもあり、全

庁一丸となって取り組むこと

もに、今後の施設更新等に向

け、経験を積み上げていくこ

ともにつなげてまいります。

駅周辺のまちづくりにつ

きましては、武蔵小金井駅南口

第2地区第一種市街地再開発

事業の工事が着々と進んでお

り、平成32(2020)年5

月の完成に向けて、建物の高

さが増していくようすを実感

しています。地区の愛称は

「武蔵小金井シティクロス」

に決定され、新たなランドマ

ークの誕生に期待が膨らみま

す。駅北口についてもまちづ

くりの検討が進められている

ところです。東小金井駅北口

土地区画整理事業につきまし

ては、地区内の建物も約4分

の3が移転を終えており、市

の東部地区の中心となる市街

地環境の創出に向けて着実に

事業を進めてまいります。

本市がめざすのは、みどりが豊かな落ち着いた住環境を守りながら、利便性やにぎわいも兼ね備える調和のとれたまちづくりです。次の世代に向けてまちの魅力を高めていくことができるよう、取り組みを進めてまいります。

行財政改革につきましては、行財政改革プラン2020

0およびアクションプラン2020に基づいた取り組みを進めてまいりました。その結果、2年間で約4・9億円の

財政効果となったところで

す。平成31年度は、行財政改革による確かな成果が感じられる1年、また「新たな行政課題を明らかにし、その対応を始めていく1年」とするた

め、私自身が先頭に立って全職員とともに本気の改革を進めてまいります。

【平成31年度予算の概要】

本市の財政状況は、起債の抑制と基金の積み立てを積極

的にを行い、持続可能な財政運営に努めてきた結果、平成29

年度決算において実質公債費比率、将来負担比率、実質単

年度収支等の改善となりました

が、単年度における財政構造の弾力性等をみる経常収支

比率の悪化は、引き続き厳しい財政状況であることを認識

させ、財政規律をしっかりと守り、予算の執行について

は、市民の皆様からお預かり

2面へ続く